

令和元年度第 1 回知床世界自然遺産地域科学委員会報告

日時 令和元年 8 月 19 日 (月) 13:00~15:30

場所 斜里町産業会館 2 階会議室

議事概要

(1) 各ワーキンググループ等の検討状況等について

① エゾシカ・ヒグマワーキンググループ

- ・ 令和元年度エゾシカ・ヒグマワーキンググループの開催概要
- ・ 今後の予定

② 海域ワーキンググループ

- ・ 海域ワーキンググループ会合の開催状況
- ・ 平成 30 年度長期モニタリング項目評価調書 (案) について
- ・ 長期モニタリング計画の評価項目の評価について
- ・ 第 43 回世界遺産委員会決議事項について
- ・ 今後の予定

③ 河川工作物アドバイザー会議

- ・ 令和元年度 (2019 年度) 河川工作物アドバイザー会議の開催状況
- ・ IUCN ミッション招聘について
- ・ 長期モニタリングについて
- ・ ルシャ川の取組について
- ・ 第 2 次検討ダムについて
- ・ 河川工作物アドバイザー会議設置要綱改正について
- ・ 今後の予定

④ 適正利用・エコツーリズムワーキンググループ

- ・ 知床エコツーリズム戦略の運用状況
(赤岩地区昆布ツアー、外国人旅行者向け情報発信の強化、厳冬期の知床五湖エコツアー事業、知床観音岩 COAST WAY フットパスコース (仮))
- ・ 個別地域における取り組み状況
(知床五湖における利用調整地区制度の運用、カムイワッカ地区におけるマイカー規制、ウトロ海域におけるケイマフリをシンボルとした協働)
- ・ 適正利用・エコツーリズム WG での議論 (長期モニタリング、地域外の資源利用者との連携について)

(2) 長期モニタリングについて

(3) 第 43 回世界遺産委員会決議の対応について

(4) その他

- ・ 令和元年度日露隣接地域における生態系保全協力に関するプログラム事業について